

【担当部局：戦略企画部】

県民の皆さんとめざす姿

県内高等教育機関における学びの選択肢が増えるとともに、各機関における教育や研究、地域貢献の取組が充実し魅力が高まることにより、三重県で学び、働く若者が増えています。

また、県内高等教育機関と地域との連携を促進することにより、地域の課題解決に向けた取組が活発化するとともに、学生と地域との結びつきが強まっています。

平成31年度末での到達目標

県内高等教育機関における教育や研究、地域貢献の取組が充実し魅力が高まることにより、三重県で学び、働く若者が増え始めています。

また、学生を中心とした県内高等教育機関と地域との連携を促進することにより、地域の課題解決に向けた取組が活発化するとともに、地域に関心を持つ学生が増加しています。

県民指標						
目標項目	27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
県内高等教育機関卒業生の県内就職率		51.0%	53.0%		56.0%	59.0%
	48.9%	48.8%				
目標項目の説明と平成30年度目標値の考え方						
目標項目の説明	県内高等教育機関を卒業し就職した者のうち、県内に就職した者の割合					
30年度目標値の考え方	平成28年度実績値をふまえ、平成29年度は4%、以降2年間は3%ずつの増加をめざすこととし、平成30年度の目標値を56.0%としました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
22701 県内高等教育機関の魅力向上・充実（戦略企画部）	県内高等教育機関への県内からの入学者の増加数		15人	20人		100人	200人
		0人	△48人				
22702 県内高等教育機関と地域との連携の促進（戦略企画部）	「学生×地域活動」サポート情報局等におけるマッチング延べ人数の増加数		250人	700人		850人	1,000人
		0人	546人				

現状と課題

- ①平成 29 年春に、県内の高等学校を卒業し大学に進んだ者のうち県内大学に入学した割合が 20.5%、県内高等教育機関の卒業生が県内企業等に就職した割合（県民指標）が 48.8%であるなど、依然、若者の県内定着について厳しい状況が続いています。引き続き、県内高等教育機関における学びの選択肢の拡大や魅力向上・充実、就職時の若者の県内定着が課題となっています。
- ②県と県内全高等教育機関で構成する「高等教育コンソーシアムみえ」では、「三重を知る」共同授業として、「食と観光」「次世代産業」「医療・健康・福祉」の3分野のPBL（課題解決型）科目を開講し、三重大学が「三重の歴史と文化」「三重の産業」の講義型科目を先行的に開講しました。引き続き、学生の県内定着に向けて、県内高等教育機関相互の連携による取組を進めるとともに、自主財源の確保などコンソーシアムの自立した運営に向けた取組が必要です。
- ③地方創生の観点で産学官が連携して、県内高校生の進学先として選ばれるよう県内高等教育機関の魅力向上を図ることが必要です。
- ④学生の確保や県内定着促進等に向けた県内高等教育機関の取組に対する補助金を、平成 27 年度および平成 28 年度からの継続分の合計 5 校に交付することを決定しました。採択事業の効果が補助期間終了後も続くよう支援する必要があります。
- ⑤若者の県内定着を図るため、県内の過疎地域等への居住などを条件に大学生等の奨学金の返還額を助成する制度については、県内外の企業の協力をいただいて運用しており、平成 28 年度に認定した支援対象者 20 名のうち、平成 29 年春に卒業した 2 名が県内企業に就職し、県内の指定地域に居住されています。平成 29 年度も 20 名の募集を行っており、指定地域のある市町の協力を得て広報誌に掲載するなど制度のPRに努めています。引き続き、県内外の学生への周知を進める必要があります。
- ⑥伊勢志摩サミットの開催成果を次世代につないでいくため、第 2 回「大学生国際会議 in 三重」を開催し、県内外から留学生 31 名を含む 73 名の学生が参加し、地域の産業体験や若者の視点からの討議等を行いました。2 回目を迎え、学生・留学生の交流プログラムとしての認知度も高まりつつあり、引き続きグローバル人材の育成の場として定着させていく必要があります。
- ⑦学生の地域活動への参画促進のため、「学生×地域活動」サポート情報局を中心に取り組んでおり、今年度は、県内全ての高等教育機関と協働して、学生がより取り組みやすい地域活動イベントを実施することとしています。平成 29 年度のマッチング延べ人数は 129 人（平成 29 年 10 月 31 日現在）となっており、学生へのさらなる浸透が課題となっています。

平成 30 年度の取組方向

- ①県内高等教育機関の魅力向上等により学生の県内定着を図るため、県内高等教育機関相互の連携による取組等を進めるとともに、「高等教育コンソーシアムみえ」の自立運営に向けて安定的な財政基盤の構築及び運営体制の強化を促進します。
- ②県内高等教育機関の振興を図り地方創生につなげるため、産学官連携のもと、県内高等教育機関が蓄積している研究シーズ等を地域産業に活用する仕組みづくりを行います。
- ③大学生等の奨学金の返還額の一部を助成する制度については、応募状況や支援対象者の状況等を分析し、制度をより効果的に運用します。
- ④県内外の留学生を含む学生が地域を知り、グローバルな視点から地域の課題を考えることにより、グローバル人材としての成長につながる機会とするとともに、本県がそのような機会を提供するに相応しい場所であると広く認知されることをめざして、引き続き学生と地域を交えた議論・交流等の取組を行います。
- ⑤学生の地域活動への参画促進に向けて、高等教育機関と協働した地域活動を開催するなど、「学生×地域活動」サポート情報局の活用に関する普及と利用者等の拡大に取り組みます。

主な事業

- ①（一部新）高等教育機関の連携推進と地方創生推進事業
【基本事業名：22701 県内高等教育機関の魅力向上・充実】
予算額：(29) 5, 252千円 → (30) 6, 732千円
事業概要：「高等教育コンソーシアムみえ」で「三重を知る」共同授業の実践や学生の地域活動などを進めるとともに、その自立運営を促進します。また、新たな産学官連携体制のもと、県内高等教育機関の研究シーズと産業界のニーズをマッチングする仕組みを構築します。
- ②地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業
【基本事業名：22701 県内高等教育機関の魅力向上・充実】
予算額：(29) 6, 135千円 → (30) 5, 532千円
事業概要：県内の条件不利地域への若者定着を促進するため、同地域への居住等を条件として、大学生等の奨学金の返還額の一部を助成します。
- ③大学生版サミット開催事業【基本事業名：22701 県内高等教育機関の魅力向上・充実】
予算額：(29) 5, 960千円 → (30) 5, 464千円
事業概要：県内外の学生・留学生が、討議や地元の方との交流を通して地域を知り、グローバルな視点から地域の課題を考える大学生版サミットを開催します。
- ④高等教育機関と地域との連携推進事業
【基本事業名：22702 県内高等教育機関と地域との連携の促進】
予算額：(29) 4, 050千円 → (30) 2, 848千円
事業概要：地域の課題解決を図るとともに、学生の地域への関心を高め県内定着につなげるため、地域活動に関心がある県内高等教育機関の学生と課題を抱える地域のさまざまな主体とのマッチング等に取り組みます。